

根こぶ病防除の新提案！

オラクル
(農薬)
+
おとり植物
(耕種的防除)

同時使用の
ススめ



根こぶ病(はくさい)の被害



根こぶ病の休眠胞子の発芽を促し、その数を減少させる「**おとり植物**」と、
発芽して放出された遊走子を直接殺菌できる「**オラクル**」。

土壌中の菌密度を低減させる作用を持つ両者を同時使用することにより、
栽培環境をより整えることができる、根こぶ病防除の新提案です。

根こぶ病・土壌病害用 殺菌剤

オラフル®
粉剤/顆粒水和剤

オラクルは、は種前または定植前までに2回土壌混和ができます。作物栽培前におとり植物との同時使用で、菌密度低減効果を発揮します。

「オラクル」+「おとり植物」の同時使用で、 恐ろしい病害・根こぶ病を、効果的に防ぎましょう!

根こぶ病・土壌病害用

殺菌剤

オラクル®
粉剤/顆粒水和剤

「オラクル」+「おとり植物」同時使用のメリット

- 1 「オラクル」は休眠孢子の発芽を阻害しないため、「おとり植物」との同時使用が可能!
- 2 両者を同時使用することで、おとり植物単独使用よりも、効果的に休眠孢子を減らせる!
- 3 土中に残っている休眠孢子が減少するため、発病リスクをより下げられる!

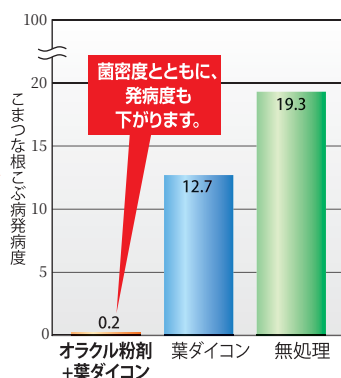
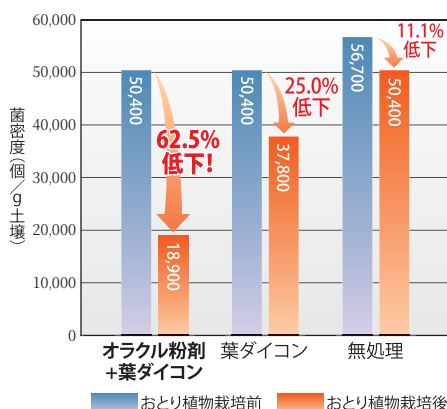


※イラストはイメージです

「オラクル」+「おとり植物」の同時使用で、菌密度をここまで下げられます!

■オラクルと葉ダイコンの同時使用による菌密度低減効果

2013年 日植防委託試験(福井県植物防疫協会)



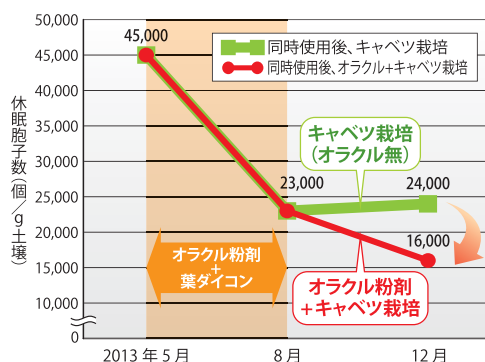
〈試験場所〉福井市宇坂別所町

〈耕種概要〉○2013年4月2日:菌密度測定○4月15日:オラクル粉剤30kg/10a、土壌混和、葉ダイコン(CR-1)播種

○5月16日:葉ダイコンすき込み○6月12日:施肥、耕耘、菌密度測定○6月18日:こまつな播種○7月20日:こまつな根こぶ病調査

■オラクルとおとり植物の同時使用後に、オラクルを使用して栽培した場合の休眠孢子低減効果

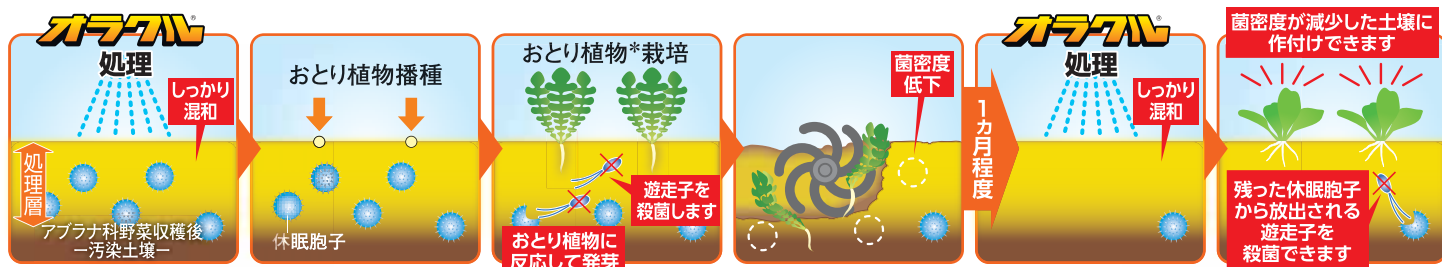
2013年 日産化学工業(株) 社内試験(茨城県境町)



〈試験場所〉茨城県境町 〈栽培概要〉○5月:休眠孢子測定○5月:オラクル粉剤処理30kg/10a、葉ダイコン(CR-1)播種○6月:すき込み○8月:休眠孢子測定、オラクル粉剤処理30kg/10a、キャベツ定植○12月:菌密度測定

「オラクル」+「おとり植物」同時使用の使い方

根こぶ病菌密度の高い圃場では、薬剤だけで防除するのは困難。そんな場合に、菌密度を下げ、発病リスクを抑えるのがこの技術です。



オラクル処理・土壌混和

1 適用作物を栽培する約2ヶ月前に処理し、しっかり混和します。

おとり植物 播種(オラクルとの同時使用)

2 土中には休眠孢子が存在しています。

おとり植物 生育

3 おとり植物を1ヶ月程度生育させ、休眠孢子の発芽を促します。

すき込み

4 菌密度が低下。おとり植物をすき込み、腐らせます(1ヶ月程度)。

オラクル処理※・土壌混和

5 適用作物を播種/定植する前に、オラクルをもう一度処理し、しっかり混和します。

作付け

6 適用作物を播種/定植します。

*オラクルと同時使用したおとり植物は、食用または動物飼料として用いないでください。現時点でオラクルとの同時使用で効果が確認されているおとり植物は、葉だいこん、エンバク、ライムギ、ソルガムです。※注意:かぶ、非結球あぶらな科葉菜類、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、はくさいの播種前または定植前に2回土壌混和する場合は、使用間隔を2ヶ月程度あけてください。2ヶ月の使用間隔とは、おとり植物との同時使用から適用作物への処理までの間隔のことです。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2023年7月現在の登録内容に基づいています。



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号 ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>
お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00~17:30 土日祝日除く)

ORO-SHV2A